

備える

<ハザードマップ>

ハザードマップには危険な場所や避難場所・避難所が記載されています。平成28年8月の台風10号の教訓をもとに、宮古市では平成30年に新しいハザードマップを発行しています。川井には土砂災害危険区域が多くあるので、確認しておきましょう。

○川井地区の避難所とは？

- 旧門馬小学校
- 門馬地域振興センター
- 川井生涯学習センター
- 川井地域振興センター
- 江繋地域振興センター
- 小国地域振興センター
- 薬師塗漆工芸館
- 川井中学校
- 箱石地域振興センター

○土砂災害の前ぶれとは？

- ・崖から小石が落ちてきたり、斜面から水が噴き出してきたりする。
- ・川に流木が混じる。
- ・雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。

<非常用持ち出し袋>

日ごろから、非常時に備えて持ち出し袋を用意しておきましょう。また、持ち出し袋を準備する人、ガスの元栓や電気のブレーカーを下ろす人、高齢者・幼児の避難準備をする人等、事前に役割分担をしておきましょう。

避難に必要な物		*最低でも3日分(食物・水 等)	
<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> ろうそく	<input type="checkbox"/> ロープ	<input type="checkbox"/> 手袋
<input type="checkbox"/> 水	<input type="checkbox"/> ライター	<input type="checkbox"/> 軍手	<input type="checkbox"/> 防寒着
<input type="checkbox"/> 携帯	<input type="checkbox"/> マッチ	<input type="checkbox"/> ビニール袋	<input type="checkbox"/> 免許証・保険証
<input type="checkbox"/> ラジオ	<input type="checkbox"/> ティッシュ	<input type="checkbox"/> 下着	(身分証明書)
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> ナイフ	<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/> 現金・預金通帳
<input type="checkbox"/> 乾電池	<input type="checkbox"/> 缶切り	<input type="checkbox"/> 毛布	<input type="checkbox"/> 救急医薬品
<input type="checkbox"/> マスク			

<家族で相談>

災害時に備え、次の事も確認しておきましょう。

- ・災害時に家族が集合する場所
- ・家族の連絡先(学校・職場・親戚)
- ・消防署、掛かりつけの病院等の連絡先



HA・KA・SE☆

伝える

災害の恐れがある場合、さまざまな情報を発表します。正しい情報を把握し、速やかに行動に移しましょう。

<情報の入手先>

- ・市のホームページ、ツイッター、フェイスブック
- ・テレビ、ラジオ
- ・広報車
- ・携帯電話の緊急速報メール
- ・防災無線

<情報の種類ととるべき行動>

☆気象庁(国)で大雨を想定して発表する情報

大雨特別警報	数十年に1度の大雨になりそうなとき →ただちに命を守る行動をとる。
大雨警報	大雨により、重大な災害が起こりそうなとき →災害情報に注意し、避難準備を始める。
大雨注意報	大雨により災害が起こりそうなとき →気象情報に注意する。命を守る準備をする。
記録的短時間大雨情報	1時間雨量100ミリの猛烈な雨を観測したとき →気象情報に注意する。命を守る準備をする。
土砂災害警戒情報	土砂災害が発生する危険度が高まったとき →避難勧告が発令されたら、速やかに避難を開始する。

☆宮古市で発表する情報

避難準備・高齢者等避難開始	避難に時間がかかる人(お年寄り、障がいのある人、乳幼児)とその家族→避難開始 その他の人→避難準備
避難勧告	その他の人は速やかに避難
避難指示	被害発生危険度が非常に高いので緊急に避難

「避難準備・高齢者等避難開始」が発令されたとき、雨はまだ降っていないかもしれません。
「早めの避難が命を救う」と考え、行動に移しましょう。
 しかし、雨量が多く避難所へ向かうことが危険な時は、無理をせずに次のページのように行動しましょう。



逃げる

<避難訓練>

学校や職場で行われる避難訓練を覚えておきましょう。また、宮古市で行われる避難訓練に参加し、避難場所や高齢者世帯など、地域として安全を守ることも考えましょう。

<避難のしかたは2つ！>

- ① 水平避難(昼間)…雨量が少ないとき、早めに避難先へ移動。



1 水平避難

- ② 垂直避難(夜間)…水平避難ができなかったとき、危険が切迫しているときに、建物の2階以上に移動。



2 垂直避難

次のことに注意してください！

- ・大雨や夜は、かえって危険なので避難先への移動はしない。
- ・家の2階に避難するとき、土砂が流れ込んでくるかもしれないので、山側でないほうの部屋へ移動する。
- ・家の2階であっても、持ち出し袋は持つ。



はじめに

川井地区は、昔から
水害・土砂災害が多い地域です。
日ごろから家族と話し合い、備える
ことが大切です。

< 今までの川井の大きな自然災害 >



平成28年8月
台風10号
道路崩落(江繋)

平成28年8月
台風10号
土砂崩れ
(国道106号線片栗)



昭和23年9月
アイオン台風
線路崩壊
(川井村・山田線)

川井は川や山に囲まれているので、土砂崩れや川の氾濫による被害が多くなっています。また、山水が倒木によりせき止められ、一気にあふれ出す「山津波」が起こることもあります。

最後に

< 防災の心得 3か条 >

1. 家族で話し合う。
2. 情報確認は、安全な場所へ、確認してから。
3. 避難の際には、非常持ち出し袋も忘れずに！

< 「川井」の命を守るために >

地域の活動(祭り、催し物)や避難訓練に参加し、コミュニケーションを深めておきましょう。

コミュニケーションを通して、安全な場所を確認できたり、普段は家にいるかないかなど日常の過ごし方をお互いに確認したりすることができます。また、いざと言うときの「声掛け」に繋がり、地域の皆さんの命を守ることに繋がります。

「川井の命」を守るために、できることから取り組んでいきましょう。

メモ(自分の避難場所、緊急の連絡先など)

「総合的な学習の時間」に、防災について学習しました。

多くの方々から教えていただいたことを皆さんに伝えたいと思い、

・紙しばい(幼児向け) ・パンフレット(小学生向け・おとな向け)

を作成しました。

みなさんに「自分の命は自分で守る、みんなで力を合わせて守る。普段から備えることが大事。」ということが伝えられたいです。

防災学習をすすめるにあたり、異人館 店主 安倍主税さん、
宮古市役所 危機管理監 危機管理課 山崎正幸さんにご協力いただきました。ありがとうございました。

発行者：(おとな向けパンフレット)

令和2年度 宮古市立川井中学校3年 (源・彩・朝陽・心音)
宮古市箱石4-1 TEL. 0193-74-2105

災害から

「川井」の命を

守ろう！

このパンフレットは、

川井が水害・土砂災害が多いことに着目して、
作成したものです。